



市民の生活を守るため、  
**新生公明党出動!**

## 現場発の政策実現へ! ～2026予算編成と物価高対策の緊急要望～

2025年11月27日、札幌市議会公明党議員会は「新年度予算編成に対する要望書」と「物価高騰から市民生活を守る緊急要望書」を秋元市長に同時提出いたしました。

予算要望書は、公明党の「小さな声を聴く力」で汲み取った市民からの声や企業・団体からの陳情を反映した205項目にわたる政策提言。さらに、即効性ある物価対策の強化も求めました。これに対し秋元市長からは「重要な内容であり、一つでも多く反映していきたい」旨の力強い回答がありました。会派一丸となり、政策実現に全力を尽くしてまいります。



### 「LiLiLi」がオープン! 公園と学校の連携で地域の魅力アップ!

百合が原公園に誕生した新施設「LiLiLi」。札幌初のPark-PFI制度により、Cafeとフリースクールやレンタルスペースなどの学習支援機能を備えた「学びのかまくら」が設けられました。

豊明高等支援学校と連携した教育活動の様子を会派で視察。子どもたちの積極的な取り組みには目を見張るものがありました。より充実した特別支援教育のため、今後も応援してまいります。



### 札幌都心へのアクセス改善に向けた新たな一歩



札幌自動車道から都心部の創成トンネルへと直結する新たなアクセス道路トンネルの工事が、いよいよ本格的にスタートします。これにより、郊外から都心へ向かう車の流れが大幅にスムーズになり、渋滞緩和や移動時間の短縮が期待されます。地域の利便性向上はもちろん、物流効率の向上や災害時の交通ネットワーク強化にもつながる、札幌の将来を支える重要なプロジェクトです。

最新情報がいつでもどこでも!



～札幌市議会公明党公式ホームページ～  
<https://sapporokomei.jp/>





**丸山ひでき（厚別区）**  
公明党議員会を代表して丸山ひでき議員が代表質問を行いました。答弁の一部を紹介いたします。

## Q 厳冬期の自然災害対策について

**A** 冬期災害への備えとして、避難所のストーブやベッドの増強、国の分散備蓄を活用し、温かい食事や入浴の提供体制を整えていきます。また、厳冬期の交通障害対策では防災研究機関と連携し、路面状況や通行可能幅をAIで判定。地図上で迅速に把握する取組の検証を進めます。さらに、スフィア基準を踏まえた避難所環境の改善や、最新技術を活用し災害対応の迅速化を進めます。



## Q 水素エネルギーの普及啓発の取組について

**A** 幅広い世代が、水素エネルギーの利用を身近に感じられるよう、水素ステーションの見学を含む中学生向けの出前授業を令和7年11月から実施。今後、札幌ハイヤー協会との連携により、燃料電池タクシーの市内での運行も開始します。さらに、札幌市が進める水素サプライチェーンの構築に向け、昨年に続き企業と連携し、さっぽろ雪まつりで普及啓発のための出展を行います。

## Q 札幌市の終活支援に対する取組について

**A** 市民が安心して終活を行うには様々な情報の中から、相続や葬儀などに関する必要な情報を、正確かつ容易に検索・入手できる環境を整える必要があります。については、国の動向や他都市の事例も参考に、終活支援に取り組む弁護士等の専門職や民間事業者と連携し、的確に情報提供ができる信頼性あるネットワークを築いていきます。



## Q 学校の危機管理対策について

**A** ヒグマ出没時の対応も含め、学校が様々な災害等に迅速に対応できるよう、適時適切に危機管理マニュアルを見直すとともに、日頃から家庭や地域社会と連携した危機管理体制の構築を進め、子どもの安全を守る取組に全力を注いでいきます。



# 物価高対策は中間所得層までの家計支援強化が重要 — 即効性があり、事務費を抑え、申請しやすい制度へ工夫を凝らせ —



国の補正予算が遅れたため、見込みで一部が予算案に計上された物価高騰対策。食品の物価高騰に対する特別加算として全市民一人あたり3,000円程度の支援となります。(下記図赤枠)

公明党は低所得者層から中間所得層も含め、支援が必要であると「重点支援交付金」の拡充を求め、即効性と事務コストの最小化を主張してきました。

これに連動し札幌市議会公明党は、昨年11月27日秋元市長に緊急要望を行い、幅の広い支援の必要性和、デジタル弱者など誰もが利用できる制度を作り出して欲しいと求めました。

今後1年程度の負担軽減策(下記図)と合わせ、札幌市独自の支援策についても、より多くの市民の皆さまの負担を和らげることが出来るよう、ネットワークの力で迅速に具体策提案を行い、実現して参ります。



## 物価高に直面する家計の直接的な負担軽減額(今後1年程度)

### 重点支援地方交付金(2.0兆円)

#### <家計支援枠>

(例: LPガス使用世帯支援、水道料金の減免、等)

1世帯あたり **10,000円** 程度

#### <食料品の物価高騰に対する特別加算>

(例: プレミアム商品券、お米券、等)

1人あたり **+3,000円** 程度

### ガソリン税の当分の間税率の廃止(1.0兆円)

(2025年11月13日から段階的に価格引き下げ)

税率▲25.1円/L 1世帯あたり **12,000円** 程度

### 物価高対応子育て応援手当(0.4兆円)

子ども1人あたり **20,000円**

### 電気・ガス料金負担軽減支援事業(0.5兆円)

(2026年1~3月) 1世帯あたり **7,300円** 程度

電気料金: 1kWhあたりの支援額 1・2月▲4.5円、3月▲1.5円  
ガス料金: 1㎡あたりの支援額 1・2月▲18円、3月▲6円

### 所得税年収の壁見直し(1.2兆円)

(2025年12月の年末調整~) 納税者1人あたり **2~4万円** 程度

(参考) ●総世帯数: 6,129万世帯(2025年1月時点) ●総人口1億2,321万人(2025年10月時点)  
●2人以上世帯の電力購入数量1月529kWh、2月527kWh、3月452kWh(家計調査22年1月~25年7月平均)